

# 令和元年度 事業報告

社会福祉法人景福会

2020年5月16日

# 景福会 法人概要

1. 法人名 社会福祉法人景福会
2. 所在地 久留米市青峰3-12-1
3. 設立日 昭和51年11月8日

## 4. 基本理念及び定款に定める目的

<b>基本理念</b> 和顔愛語 穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接します。 <b>目的</b> 利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。
--

## 5. 沿革

昭和52年 5月 1日 特養唐孔雀園開設(50床)
昭和56年 5月 16日 特養唐孔雀園増床50床、定員100床
平成 4年 5月 31日 認知性老人専用居室設置(ひだまりの棟)
平成12年10月 1日 唐孔雀園デイサービスセンター開設
平成18年10月 1日 桜花台園(地域密着型特養20床・小規模)開設、唐孔雀園80床に減床
平成18年11月 1日 桜花台園(短期入所生活介護10床)開設
平成23年10月 1日 唐孔雀園短期入所生活介護事業開始(7床)

## 6. 事業所

施設名	唐孔雀園	施設名	桜花台園
設立	昭和52年5月1日	設立	平成18年10月1日
所在地	久留米市青峰3-12-1	所在地	久留米市高良内町3919-7
責任者	山崎 美寧子	責任者	山崎 美寧子
事業内容	介護老人福祉施設 80床 短期入所生活介護 7床 地域密着型通所介護 定員15名、元気デイ定員5名 居宅介護支援(休止中2019.10~) 配食サービス(2019.7~療養食限定)	事業内容	地域密着型介護老人福祉施設 20床 短期入所生活介護 10床 小規模多機能型居宅介護 登録25名(通い15名、宿泊7名)

## 7. 理事・監事

氏名	役職	就任年月
山崎 剛	理事長	H8.4.28
山崎 美寧子	理事	H2.1.1
石橋 力	〃	H10.12.28
秋永 俊二	〃	H28.11.8
寺崎 正一	〃	H29.6.18
板谷 克之	〃	H30.1.13
古賀 昭	監事	H6.5.29
藤島 玄稔	〃	H29.6.18

## 8. 事業所別職員数(管理者除、派遣含)

R2.4.1現在

職種/勤務形態	唐孔雀園		桜花台園		合計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護職員	(10) 18	5 (14)	15	13 (24)	33	18
看護職員	5	7	2	2	7	9
リハビリ	1	1	0		1	1
ケアマネ・相談員	5		3		8	0
栄養課職員	1		1		2	0
事務職	4		1	1	5	1
運転手・営繕その他	2	2	2	4	4	6
合計	36	15	24	20	60	35

介護職員( )内は介護(社会)福祉士。育休等、長期休暇者は除く

## 9. 財務状況

(百万円)

		30/3	31/3	2/3
損益	サービス活動収益	536	539	528
	サービス活動増減差額	▲14	▲12	▲28
	経常増減差額	▲15	▲13	▲28
	当期活動増減差額	▲15	▲13	▲28
	減価償却費	28	27	27
	補助金等積立金取崩	▲8	▲7	▲7
	次期繰越収支	279	267	239
財務	総資産	763	725	679
	自己資本	652	633	600
	借入金	45	32	17

## 10. 施設・事業別収益状況

(百万円)

		30/3	31/3(A)	2/3(B)	(B)-(A)
唐孔雀園	特養	310	310	302	▲8
	デイ	18	23	24	1
	ショート	11	13	8	▲5
	ケアプラン	2	2	1	▲1
	給食	6	7	3	▲4
	合計	347	355	338	▲17
桜花台園	特養	97	95	98	3
	ショート	41	41	43	2
	小規模	52	48	50	2
	合計	190	184	190	6

施設・事業別利用者推移

唐孔雀園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	2019	2,179人	2,270人	2,246人	2,358人	2,441人	2,251人	2,319人	2,137人	2,240人	2,280人	2,177人	2,311人	27,209人
	2018	2,354人	2,415人	2,307人	2,375人	2,390人	2,285人	2,431人	2,321人	2,310人	2,338人	2,048人	2,325人	27,899人
	2017	2,251人	2,462人	2,333人	2,389人	2,483人	2,357人	2,326人	2,282人	2,382人	2,432人	2,176人	2,305人	28,178人
	2019 -2018	-175人	-145人	-61人	-17人	51人	-34人	-112人	-184人	-70人	-58人	129人	-14人	-690人
延数	2018 -2017	103人	-47人	-26人	-14人	-93人	-72人	105人	39人	-72人	-94人	-128人	20人	-279人
	2019	256人	238人	220人	255人	246人	271人	293人	307人	301人	286人	281人	280人	3,234人
デイ	2018	253人	281人	279人	272人	266人	267人	271人	256人	246人	179人	185人	248人	3,003人
	2017	203人	206人	203人	197人	192人	198人	215人	194人	234人	210人	226人	263人	2,541人
	2019 -2018	3人	-43人	-59人	-17人	-20人	4人	22人	51人	55人	107人	96人	32人	231人
	2018 -2017	50人	75人	76人	75人	74人	69人	56人	62人	12人	-31人	-41人	-15人	462人
ショート	2019	147人	69人	78人	104人	84人	89人	97人	78人	20人	0人	0人	2人	768人
	2018	114人	76人	56人	96人	147人	78人	75人	106人	131人	122人	106人	122人	1,229人
	2017	65人	58人	48人	49人	59人	91人	103人	87人	148人	155人	97人	122人	1,082人
	2019 -2018	33人	-7人	22人	8人	-63人	11人	22人	-28人	-111人	-122人	-106人	-120人	-461人
延数	2018 -2017	49人	18人	8人	47人	88人	-13人	-28人	19人	-17人	-33人	9人	0人	147人
	2019	16件	15件	16件	15件	13件	13件	6件	0件	0件	0件	0件	0件	94件
居宅	2018	17件	17件	18件	18件	17件	19件	18件	18件	17件	16件	17件	17件	209件
	2017	20件	21件	19件	20件	20件	20件	21件	21件	21件	21件	17件	19件	240件
	2019 -2018	-1件	-2件	-2人	-3人	-4人	-6人	-12人	-18人	-17人	-16人	-17人	-17人	-115件
	2018 -2017	-3件	-4件	-1件	-2件	-3件	-1件	-3件	-3件	-4件	-5件	0件	-2件	-31件
請求数	2019	1,097食	1,055食	1,063食	204食	227食	215食	263食	257食	244食	221食	188食	178食	5,212食
	2018	1,225食	1,262食	1,447食	1,329食	1,293食	1,131食	1,306食	1,196食	1,077食	1,058食	1,013食	1,066食	14,403食
	2017	574食	677食	741食	755食	646食	653食	978食	1,068食	1,121食	964食	1,047食	1,212食	10,436食
	2019 -2018	-128食	-207食	-384食	-1,125食	-1,066食	-916食	-1,043食	-939食	-833食	-837食	-825食	-888食	-9,191食
延食数	2018 -2017	651食	585食	706食	574食	647食	478食	328食	128食	-44食	94食	-34食	-146食	3,967食

桜花台園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	2019	596人	620人	595人	613人	570人	576人	589人	596人	613人	608人	549人	589人	7,114人
	2018	570人	604人	590人	611人	551人	543人	559人	558人	598人	620人	526人	604人	6,934人
	2017	593人	605人	592人	613人	620人	579人	589人	577人	620人	612人	548人	615人	7,163人
	2019 -2018	26人	16人	5人	2人	19人	33人	30人	38人	15人	-12人	23人	-15人	180人
延数	2018 -2017	-23人	-1人	-2人	-2人	-69人	-36人	-30人	-19人	-22人	8人	-22人	-11人	-229人
	2019	272人	287人	267人	298人	277人	282人	275人	281人	287人	258人	258人	241人	3,283人
ショート	2018	274人	281人	272人	250人	281人	254人	305人	304人	298人	287人	252人	291人	3,349人
	2017	285人	296人	274人	277人	298人	287人	294人	291人	277人	251人	222人	259人	3,311人
	2019 -2018	-2人	6人	-5人	48人	-4人	28人	-30人	-23人	-11人	-29人	6人	-50人	-66人
	2018 -2017	-11人	-15人	-2人	-27人	-17人	-33人	11人	13人	21人	36人	30人	32人	38人
小規模	2019	23人	21人	23人	21人	21人	22人	21人	21人	20人	20人	22人	21人	256人
	2018	19人	20人	20人	17人	18人	19人	20人	19人	19人	19人	20人	20人	230人
	2017	17人	16人	17人	18人	19人	19人	20人	21人	20人	21人	21人	20人	229人
	2019 -2018	4人	1人	3人	4人	3人	3人	1人	2人	1人	1人	2人	1人	26人
登録数	2018 -2017	2人	4人	3人	-1人	-1人	0人	0人	-2人	-1人	-2人	-1人	0人	1人

特養の利用者諸表(唐孔雀園+桜花台園)

入所年齢別・性別

(単位：名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	5	3	1	4	1	0	0	17	78.2歳
女	5	1	2	18	21	17	10	3	77	87.3歳
計	8	6	5	19	25	18	10	3	94	85.6歳

男性 最高 88歳 最低 85歳

女性 最高 101歳 最低 79歳

在所期間

(単位：名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8年以上	計
男	10	2	2	0	1	0	0	2	17
女	31	11	4	4	5	5	4	13	77
計	41	13	6	4	6	5	4	15	94

ADL調査表

(単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	50	12	10	14
介助で出来る	10	22	34	7
全然出来ない	23	50	49	73
経管栄養	6			
胃ろう	5			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	名	率(%)	問題行動	名	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	6	6.4%	独語	9	9.6%
大声・暴言	14	14.9%			
暴力・介護抵抗	6	6.4%			
収集癖	4	4.3%			
異食	4	4.3%			
不潔行為	4	4.3%			

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	1	4	5	6	17	3.8
女	1	5	20	27	24	77	3.9
計	2	6	24	32	30	94	3.9

## 事業実績表(法人本部・事務部門)

### 理事会・評議員会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
5月15日	監事監査	唐孔雀園 会議室	2名	平成30年度事業報告・財産目録・ 負債対照表・収支計算表等の監査
5月20日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 6名 監事 1名	平成30年度事業・決算報告・監査報告の承認 定時評議員、評議員選任・解任委員会の招集 JRA福祉財団助成金による軽車両購入申請 次期理事・監事推薦、評議員選任・解任委員の選任他
6月8日	評議員会	久留米市 マリアレ創世	評議員 7 名 理事 2名 監事 2名	平成30年度決算報告・監査報告の承認 理事・監事の選任
6月8日	理事会	久留米市 マリアレ創世	理事 6名 監事 2名	理事長の選任 法人賭規程の一部改訂 唐孔雀園の改修工事
8月3日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 6名 監事 2名	唐孔雀園の防水工事
11月11日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 6名 監事 1名	JRA福祉財団助成金事業による福祉車両購入 栄養管理システムの調達費用増加 法人役員との利益相反取引について 唐孔雀園浴室給湯改修工事
2月10日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 5名 監事 2名	介護人材プロジェクト(外国人留学生)への参加
3月9日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 6名 監事 2名	令和元年度補正予算 令和2年度事業計画および予算 就業規則、給与・賞与規程の一部改訂 臨時評議員会の招集
3月28日	評議員会	唐孔雀園 会議室	評議員 6名 理事 2名	令和元年度補正予算 令和2年度事業計画および予算

### 外部研修・説明会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
4月25日	外国人留学生に係る 介護人材プロジェクト	久留米市 マリアレ創世	1名	介護人材確保のための筑後地区老施協が 計画している外国人留学生修学支援につい て
5月21日	社会福祉法人 役員研修会	久留米市 えーるピア	2名	「社会福祉法改正の背景と社会福祉法人・施 設に求められる役割」 市健康福祉部による指導監査の説明
5月28日	2019年度久留米地区 企業内同和問題研修 推進委員会総会	久留米市 シティプラザ	1名	総会及び講演「共に働く環境整備」
7月3日	ライフレスキュー久留 米連絡会	久留米市 総合福祉セン ター	1名	平成30年度事業報告ほか
11月23日	介護予防フェスタ青峰	久留米市 青峰コミセン	1名	認知症と自動車運転
11月26日	久留米市障害者 雇用セミナー	久留米市 リサーチセン タービル	1名	久留米市内企業の取組状況
11月28、29日	久留米市老施協 宿泊研修	大分市 特養清流苑 他	1名	大分市内の2施設施設見学
12月19日	医療連携セミナー	久留米市 マリアレ創世	1名	久留米大医療センターの糖尿病治療の連携

1月17日	福祉サービス苦情解決 従事者研修会	春日市 クローバープラザ	1名	苦情解決実施体制の整備等
1月24日	筑後地区老人福祉施設 研究大会	久留米市 マリエル創世	1名	研究発表、永年表彰等
2月13日	九社連 老人福祉施設協議会 施設長研修会	福岡市 ホテル日航	1名	中央情勢報告、介護保険制度等 に関する最近の動向
2月18日	福祉と防災に関する 理解促進に向けた 研修会	久留米市 えーるピア	2名	地域の水害リスク、久留米市の取組等
2月20日	企業内人権啓発事業 主研修会	久留米市 シティプラザ	1名	講演「情報×人権」、公正な採用選考

## 唐孔雀園(特養・ショート)

### ■運営

#### ・全般

施設課においては、利用者様がその人らしく安心して生活を送って頂けるよう、より良い施設サービスの提供に取り組んできました。安全面においては、見守り不十分が原因での事故や離園行為が複数回見られました。見守り強化の為に人員補充が急務の課題として挙げられます。また職員の事故防止の為に知識習得、意識向上とともに利用者様が普段より安心して穏やかに生活して頂けるような環境づくりに努めていきたいと思っております。

衛生面では、残念ながらインフルエンザの罹患者が1名発生しました。今後も清掃担当職員と協力し、感染症の発生を未然に防げるように、引き続き衛生面に留意して環境整備に努めていきます。

食事については、引続き経口維持加算の取組みを行い、より細やかな記録、安全な介護技術の統一を行いました。今後も職員の資質向上のため再指導と園内研修により事故が起きないように取り組んでいきます。

今後の課題としては、個別ケアに対しての、職員の意識づけと、それに伴う知識、技術の向上、申し送りの徹底に努め、職員皆が情報を共有できる体系づくりを行っていく必要があります。

### ■施設サービス計画

担当者会議は、介護保険更新・区分変更・プラン終了(概ね1年間)時期に、サービス担当者会議を経て、作成を実施致しました。

また、新規利用者については、暫定プラン(1週間以内)作成し、1か月以内にサービス担当者会議を開催しプラン作成を行っています。

### ■リハビリ

#### 入所者のリハビリテーションの実施

入所者の身体機能評価を行い、プログラム・目標を立案し、利用者様の身体状況に応じて機能訓練室またはベッドサイドで実施しています。

⇒平均施行者数:29.0/日

単位:人

4月	29.0	5月	26.9	6月	28.8	7月	28.5	8月	28.6	9月	29.1
10月	29.5	11月	28.6	12月	30.1	1月	30.7	2月	29.7	3月	28.5

\*山崎PT担当フォロー者:5名

その他:園内研修実施(R2年1月:腰痛について)

### ■ショートの利用推進

年間平均稼働率は、30%、延べ利用者768人で推移いたしました。

#### 月別推移

単位:%

4月	70.0	5月	31.8	6月	37.1	7月	47.9	8月	38.7	9月	42.3
10月	46.2	11月	37.1	12月	9.2	1月	0.0	2月	0.0	3月	0.9

特に12月以降、特養へのシフト、職員不足による受入調整や新型コロナの影響を受けました。

### ■利用者・家族との関係作り

ご家族様の面会時にコミュニケーションを図り、日頃の様子を伝え信頼関係づくりに努めました。また、体調不良時等、その都度連絡しご家族様が不安にならないように配慮する事ができました。ご家族様からの指摘や苦情については、迅速に対応策を講じる事で、ご家族様から誤解が生じないように心がける事が出来ました。また、家族懇談会でご家族様の声を聴き、その声を職員同士で共通理解し、業務に励む努力を行いました。現在でも共通理解には結びついていない為来年度も行っていきます。

■入所待機者の確保  
待機者の月別推移

単位:人

4月	15	5月	15	6月	9	7月	13	8月	14	9月	14
10月	13	11月	14	12月	7	1月	8	2月	8	3月	7

入所待機者数の減少があるため、病院・居宅介護支援事業所・地域包括センター・

H31年度も入所申込み数が少なく、入所待機者数も減少傾向です。居宅介護支援事業所や久留米市役所等への積極的な情報提供を実施しながら、増加に努めていきます。

■職員教育(研修)

H31年度は、県社協、老施協主催の研修及びその他の研修には職員の人員不足により園外研修に出すことができず、職員の資質向上に繋げることができませんでした。

園外研修の参加者が減少したことにより、他の職員へのフィードバックを行う場の設定もできませんでしたし、また園内研修も職員が講師となる為準備不足により、当初の計画通りに進める事ができませんでした。来年度は、園外研修への参加及び園内研修も予定通りに実行できる事で職員の資質及び技術の向上に努めていきます。

■各種委員会(改善点できたもの・改善中のもの)

・排泄ケア委員会

オムツメーカーを統一した事により、排泄ケアの個別による勉強会を取り入れることができ一人一人の技術の向上が計れた。おかげで職員の意識向上、ご利用者様の失禁減少、コスト削減も実現できました。

・感染症対策委員会

感染予防の基本は、職員に周知徹底ができたのではないかと思います。感染症の流行時期にはその都度委員会を開催し対応策を決定しました。職員のインフルエンザ罹患により、ご利用者様が1名罹患されましたが、その後他の利用者様への感染はありませんでした。新人(派遣を含む)への教育に注力し、感染防止のための衛生管理についても周知を行っています。新型コロナウイルス対策については、嘱託医の指導の下、職員の毎日の検温・業者等の立入制限・家族等の面会禁止・飲食物の持込禁止等を実施するとともに、発生時の対応等についても職員に周知をしています。

・事故防止対策委員会

施設を利用される利用者様及び来園されるご家族様や職員等が、事故や怪我なく安全に過ごせるよう、委員会で広く情報収集、対策の立案等を行ってききましたが、事故発生件数は15件でした。そのうち、見守り不十分での事故発生が全体の2/3を占めています。また、同じ利用者による離園行為が複数回見られました。利用者様の精神状態の変化にも十分気を配りながら見守りを行っていきます。引き続きヒヤリハット報告書により、施設全体として安全面の強化・情報収集を行い、委員会を中心としたリスクマネジメントの体制を整備していきます。

・褥瘡対策委員会

今年度は体位交換の指導が職員全員に行き届かなかった事や利用者様の栄養低下により、10名の方に褥瘡発生が見られました。また、同じ利用者様が繰り返して褥瘡が発生しているため、介護職・看護職・医師・理学療法士・管理栄養士と連携し、職員全員に体位交換の指導し、栄養面からのサポートを引き続き行い、褥瘡予防を第一の目標として取り組んでいきます。

・身体拘束廃止委員会

4月時点では、経管チューブの自己抜去や搔痒感による掻き走り行為によるミトン使用者が2名、経管栄養チューブの自己抜去が頻繁に見られる為両手にミトン+抑制帯使用し、なおかつ下肢がベッドから転落するリスクが高いため2点柵を使用している利用者1名の計3名の方に身体拘束を行っていました。毎月1回委員会を開催し、身体拘束を行っている利用者様の状態や身体拘束の必要性について検討・見直しを行い、10月に2名の方のミトン使用を解除し、1名の方のベッド2点柵の解除を行いました。さらに12月に1名の方が退所となられたことにより、現在身体拘束している利用者はゼロです。今後も、利用者様の身体状況や精神状態の把握、検討を行うことで身体拘束ゼロを継続していくと同時に職員への身体拘束廃止の啓蒙活動、他職種との意見交換を行っていきます。

・接遇委員会

言葉遣いは職員間でお互いに注意する環境作りを行っていましたが、一部の職員が徹底できず十分に出来ておらずご家族から指摘がありました。身だしなみは会議等での周知徹底の効果が現れ改善しています。

・入浴ケア委員会

利用者様に対するプライバシーの配慮は出来ていますが、職員が不足していることから早く終わらせなければという意識からゆとりのある入浴介助ができていない場合があります。週4日の入浴日を均等に活用し、ゆとりのある質を重視した入浴介助が今後の課題です。また、人員不足により職員の身体的負担も増大してきており、浴室のリフォーム・福祉用具・機械浴の導入も検討が必要と思われます。

■利用者諸表(特養)(R2年3月31日現在)

入所年齢別・性別

(単位：名)

性別\期間	～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	5	3	1	2	1	0	0	15	77歳
女	5	1	1	14	14	13	9	2	59	87歳
計	8	6	4	15	16	14	9	2	74	85.1歳

男性 最高 94歳 2月 最低 58歳 4月  
女性 最高 100歳 4月 最低 60歳 4月

在所期間

(単位：名)

性別\期間	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8～9年未満	9年～	計
男	5	4	2	2	0	0	0	0	0	2	18
女	18	6	8	3	1	5	3	4	3	8	60
計	23	10	10	5	1	5	3	4	3	10	74

ADL調査表

(単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	44	10	10	13
介助で出来る	5	21	24	2
全然出来ない	15	43	40	59
経管栄養	6			
胃ろう	4			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	4	5%	独語	6	8%
大声・暴言	9	12%	幻視・幻聴	1	1%
暴力・介護抵抗	2	3%	物を破る	0	0%
収集癖	3	4%	帰宅願望	7	9%
異食	2	3%	物盗られ妄想	1	1%
不潔行為	1	1%	被害妄想	3	4%

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	1	4	4	5	15	3.8
女	1	5	15	17	21	59	3.9
計	2	6	19	22	26	74	3.9

■行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
毎週土曜日	生花教室	毎回、生花は園内ロビー等に飾っており、利用者様やご家族に好評。
月2回	音楽リハビリ	利用者の7割程度がいつも参加、非常に楽しみにされている。日頃、発語がない方も唱歌や童謡は口ずさまれている。
第4月曜日	誕生会	誕生カード・バラを渡し、お祝い。ご家族に誕生会の様子を手紙と写真で知らせることで、ご家族も喜ばれている。
第4月曜日	口腔ケア指導	さくら歯科訪問歯科診療の歯科衛生士より口腔ケア指導を受ける。
5月12日	母の日	利用者様に母の日のプレゼントとしてカーネーション・カードを渡す。
5月13日	創立42周年記念行事	利用者様に集まって頂き、式典を行う。
6月6日	防火避難訓練	久留米広域消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた。
6月16日	父の日	利用者様に父の日のプレゼントとしてバラ・カードを渡す。
7月7日	七夕	6月より利用者様と共に七夕飾りを作り、竹を用意し玄関ロビーに飾る。利用者様には願い事を短冊に書いて頂く。
8月10日	盆供養	昨年の8月より亡くなられた利用者様の初盆の供養
9月13日	長寿のお祝い(贈呈式)	久留米市役所より100歳の利用者様へ祝状・祝金贈呈
9月16日	第43回敬老大会	式典では祝辞、長寿の祝いで頂いた祝状等贈呈及び米寿等の利用者様も祝う。午後、家族懇談会、祝舞・ピアノ



11月14日	防火避難訓練	久留米広域消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた
12月12日	年忘れ大会	訓練室のクリスマスツリーや飾り付けを行い、職員によるカラオケや出し物・音楽リハ・ピアノソロ。サンタによるプレゼント贈呈。
1月1日	新年祝賀式典	理事長出席の下、式典を行う。
2月中旬	お雛様飾り	玄関ロビーにお雛様を飾り付ける。

■ 研修実績 (園外研修)

実施時期	研修名	内容・成果
5月11日	2019年 筑後感染管理トレーニングコース	感染対策で最も基本的な標準予防策の知識習得
5月28日	平成31年度集団指導	特養・ショートに係る介護保険制度等の情報および留意点
7月18、19日	九州老人福祉施設職員研究大会	認知症ケアや看取り介護の現状と課題を学ぶ
9月25日	高齢者虐待防止研修	養介護施設従事者等による高齢者虐待防止について
11月5日	ノロウイルス食中毒予防講習会	ノロウイルスの正しい知識を習得し、食中毒の防止を図る
1月24日	筑後地区 老人福祉施設研究大会	永年勤続表彰・研究発表会
2月6日	筑後地区 老人福祉施設協議会	第4回職員研修(介護職員による虐待の防止)

(園内研修)

実施時期	研修名	内容・成果
4月18日	倫理及び法令遵守について	介護職員の職業倫理について学ぶ。
4月24日 5月22日	口腔ケアについて	歯科衛生士より高齢者のための口腔ケアについて
5月9日	接遇研修①	施設職員のための接遇マナーについて
5月30日	正しいオムツ装着①	ケアルートより正しいオムツの当て方について
6月24日	食中毒の予防・まん延防止	食中毒予防について
6月17日	感染症予防・まん延防止	熱中症について
6月10日	身体拘束廃止・虐待①	身体拘束とは
7月11日	褥瘡のメカニズム①	褥瘡発生のメカニズムについて
7月8日	認知症ケア	認知症ケアについて
8月19日	事故の発生予防及び再発防止	事故トラブルの発生について
8月28日	医療に関する教育	喀痰吸引と酸素投与
9月5日	事故の発生等の心肺蘇生について	救急救命士より心肺蘇生について、実技含む
9月9日	安全な入浴介助方法について	安全な入浴介助について
10月3日	プライバシーの保護の取り組み	プライバシー保護のマニュアルについて
10月17日	接遇研修②	施設職員のための接遇マナーについて
11月11日	褥瘡の予防と管理②	褥瘡の予防法について
11月14日	正しいオムツ装着②	ケアルートより正しいオムツの当て方について
12月9日	インフルエンザ・ノロウイルス	冬の感染症とその予防対策について

1月16日	リハビリ	腰痛について
2月13日	正しい食事介助方法	安全な食事介助について
2月20日	医療に関する教育	喀痰吸引について
2月20日	身体拘束廃止・虐待②	
3月9日	ターミナルケア	ターミナルケアについて

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
12月8日	青峰校区文化祭	利用者の作品展示、職員もちつき参加。 文化祭当日、利用者様は職員と共に見学する。

唐孔雀園(デイサービスセンター)

■基本方針

全般

- 1 利用者の残存能力を活かした健康体操、ケアピクス、音楽リハビリの行事や毎日実施している体操や口腔体操等で、身体機能の維持・向上を図り、充実した在宅生活ができるように支援した。
- 2 利用者とのコミュニケーションを密にし、心身の状態やニーズに応じたサービスを実施した。
- 3 久留米市、地域包括支援センター、地域のコミュニティセンター、老人大学、婦人学級等へ情宣活動を実施して、介護の講演を行ったり、体操等への参加を実施した。

重点項目

- 1 利用者に対し、個々の身体能力に対応した運動等を実施し、豊かな在宅生活を支援した。
- 2 利用者に対し、介護予防に対し個々の目標を設定し、その実現のための取組みを推進した。
- 3 利用者の心身の状況に応じたサービスの提供を行い、利用者の満足度アップに努めた。
- 4 利用者に対し、職員は尊敬と敬愛の気持ちで接し、明るい笑顔で心安らぐ対応を行った。
- 5 利用者に対し、屋外行事や屋内行事を充実して、社会的孤立感の解消に努めるとともに、ご家族とのコミュニケーションを図り、ご家族の身体的・精神的負担の軽減に努めた。
- 6 積極的に外部研修に参加し、職員の専門性・技術向上を高め、内部研修で情報等の共有化を図った。

■令和元年度年間利用者数計画・実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 平均
計画	延人数	225	270	260	260	297	275	297	312	312	312	288	335	3,443
	1日平均	9.0	10.0	10.0	10.0	11.0	11.0	11.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	11.0
実績	延人数	256	238	220	255	246	271	293	307	301	286	281	280	3,234
	1日平均	9.8	8.8	8.8	9.4	9.1	10.3	10.9	11.8	11.6	11.4	11.2	10.8	10.4

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
7月	青峰校区老人大学 婦人学級 勉強会	介護認定の申請から各施設の説明を実施した。
7月	青峰校区子供会	子供神輿が来園、利用者といっしょに子供さん達との深耕が図られた。
12月	青峰校区文化祭	利用者のはり絵、書道、手芸品等を展示した。

■主な行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
4月	お花見	さくら見学 竜王寺公園 (16名参加)
5月	茶話会	クイズ形式によるグループ対抗戦 (8名参加)
6月	お花見	紫陽花見学(8名参加)
7月	そうめん流し	竹を使ったそうめん流し (延31名参加)
8月	夏祭り	屋台を作り、ゲーム、かき氷等でお祭り気分を味わう (延30名参加)
9月	敬老会	職員による演芸等で敬老の日を祝う (25名参加)

10月	運動会	利用者様と職員合同で紅白に分かれての運動会（16名参加）
11月	茶話会	クイズ形式によるグループ対抗戦（13名参加）
12月	年末お楽しみ会	クリスマス会と一緒に実施、カラオケ、ケーキ作り（延19名参加）
1月	初詣	成田山、高良山、日吉神社（延20名参加）
2月	節分	豆まき（延26名参加）、梅花見学（延20名参加）
3月	お花見	さくら見学 内野さくら公園（コロナウイルスの為施設から見学）

毎月実施

・音楽リハビリ、ケアビクス、誕生会、お買物、健康体操、おやつ教室、創作教室、書道教室等を実施。

## 唐孔雀園(ケアマネジメント課)

### ■運営

#### 全般

高齢者の皆様が、介護が必要となられた状態でも、住み慣れた地域及び自宅で生活が継続できるように、介護保険サービスを中心に支援を行い在宅介護の継続に努めました。

しかし、核家族化に伴い、独り暮らし・高齢者世帯の方々が多くなり、介護保険サービスが中心となられているため、介護面の不足が生じやすく、居住系サービス(有料老人ホーム・グループホーム等)へ早期の入居が多くなっています。但し、費用負担が大きいため、特別養護老人ホーム・老人保健施設・療養型施設への紹介・調整のニーズが非常に高い状況です。また、平成29年度より、介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が実施されていますが、要支援者の方(通所型・訪問型の利用者)へのサービス量の減少が生じています。その為、インフォーマルサービス(公民館活動・社協サービス・ボランティア)で補いながら、地域への社会参加につながるように支援を致しました。

#### 目標に対する実績

久留米市介護福祉サービス事業者協議会・久留米市地域包括支援センター・久留米市役所(長寿支援課・介護保険課・生活支援課等)との連携を図りながら、介護保険サービス及び高齢者福祉サービスを活用して、利用者への居宅介護支援業務を適切に行えました。また、困難ケースについては各機関と調整を行い実施しました。さらに、国が推奨している、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療機関との連携を密に行うことで、利用者の円滑な入退院の実施につながった。

#### 取り組み事項の成果および事業休止

地域の皆様へ、介護保険及び高齢者福祉サービスの理解を深めて頂くために、当法人における介護予防教室の実施及び久留米市介護福祉サービス事業者協議会(副会長)の役割を果たしながら、在宅介護の支援を実施することが出来ました。

課題の登録利用者増加がかなわず、事業としての採算が取れないことから11月1日より事業休止が決定しました。

9月からは休止に向けた担当利用者の事業者変更等、滞りなく業務を遂行致しました。

### ■主な研修実績

実施時期	行事名	内容・成果
5月4日	唐孔雀園 園内研修 (倫理研修)	講師:唐孔雀園 事務部長 古賀 「アンガーマネジメントについて」
5月6日	認知症研修(資料配布)	久留米市役所 長寿支援課(資料・パンフレット)
6月10日	令和元年度 集団指導	久留米市役所 介護保険課 指定・育成チーム
7月12日	久留米市介護福祉サービス 事業者協議会 介護支援専門員部会 主催	講師:日本介護クラフトユニオン 伊藤氏 「ご利用者・ご家族からのハラスメントについて」
9月20日	久留米市介護福祉サービス 事業者協議会 介護支援専門員部会 主催	講師:福岡県社会福祉士会 原田氏 「障害福祉サービスについて」
11月15日	久留米市介護福祉サービス 事業者協議会 介護支援専門員部会 主催	講師:宮崎大学医学部 教授 板井先生 「誰にでも訪れる人生の最終段階」

## 桜花台園(特養・ショート)

### ■運営

#### 【特養】

①年間2回(6月、1月、3月)入所検討委員会を開催し、待機者は19名(前年比▲5)でした。

待機者減少の中、円滑に利用者の入所を行うため回数を前年より1回増やしました。

- ②今年度退所者は6名、入院者4名(脳出血。心不全、肺炎・貧血治療)となり前年比では横ばい。空所期間中、ショートステイの空床利用で稼働維持を図りましたが、前年より稼働率が低下しました。今後は、介護中の事故を発生防止、感染及びケアの研修を実施し、職員に周知させていきます。
- ③経管栄養(胃ろう)のご利用者は現在1名です。
- ④家族会を7月に開催し、今回は栄養教室と合同で開催しスタッフと交流を図ることで桜花台園の日々の活動を知って頂く事に努めました。
- ⑤広報誌は年間2回の発行し前年同様、前年同様ご家族へ日頃の様子をお伝えする事ができました。
- ⑥年度末は新型コロナ影響により面会が制限される中、ご家族に利用者と共に書いた絵手紙を(花や鳥のぬり絵に言葉を添えたもの。)郵送するなどご家族への伝達を行いました。  
特養の申し込みや施設見学  
特養の申込者や施設見学者は写真で施設を説明し、希望する申込者は、自宅に訪問し申し込みの手続きを行う等、稼働率の維持に努めました。
- ⑦特養の年間延べ日数は7,114日と前年比+180日でした。

## ■ケア

### 【特養】

- ①全体ミーティングを年2回実施し、虐待を予防するために家族の希望や利用者の生活状況の把握等を中心に会議を実施し、ケアの見直し、適切な支援についての検討を行いました。
- ②ユニットリーダー研修は今年度も参加することができませんでした。
- ③居室の担当者が月1回の清掃チェックを行い居室の環境が整っていました。
- ④日々の利用者の咀嚼・嚥下の状態に応じて各職種連携・検討を行い経口維持加算の算定を行った。また、ケアプランに反映し24時間シートと連動することで毎食の評価へと繋げることができました。
- ⑤脳トレを継続的に行い、新たにことわざも追加した学習療法に取り組むことができました。
- ⑥個別機能訓練の対象者7名に対し、毎日訓練を実施し前年度より充実した提供ができました。
- ⑦新人教育は、感染などについては看護から指導し、業務やケアについては業務マニュアルを追加・変更した上で新人・派遣職員へ業務やケアの指導を行い、働きやすい環境や取組みやすいケアへと改善することができました。
- ⑧入院中の利用者の状況把握のため、医療機関との情報交換を密に行うことで、現場スタッフへも直近の利用者の状態を報告し、事前にケアを予測・検討することができました。
- ⑨今年度は開設以来最も多い6人の看取りを行い、全員看取り加算を算定することができました。スタッフの負担は大きかったですが、看取り指針に沿ってご家族・ご利用者の心身の負担緩和に努め、各職種連携し実施することができました。

### 【ショート】

- ①徘徊や昼夜の帰宅願望の認知症状を抱えるご利用者が増えていく中、ご家族の連絡・協力体制を確認しながら、夜勤者・ケアマネが連携し、状態に応じた対応を行い、利用者が安心して宿泊できる環境を提供できました。
- ②連絡ノートや業務マニュアルを見直し、利用者の体調や状態など情報の共有を図り、ケアをすることができましたが、全体ミーティングが実施できず、全員の意見交換の機会を持つことができませんでした。
- ③見学者や新規希望者に、写真や電話を活用して施設の説明を行い、新規利用者を受け入れるための受け入れるための取組みを行った。
- ④リハビリは、生活する中で生活リハに加えて、1階での平行棒や手すりを使った個別機能訓練を実施、脳トレと合わせて新たにことわざを使った学習療法に取り組みました。  
また、従来から実施している毎日の健康体操や口腔体操は継続することができました。
- ⑤体調変化のサインを見逃さず看護、介護、ケアマネの連携を図り、速やかに家族へ報告、医療機関受診を家族へ依頼または受診介助し早期対応を心掛けました。
- ⑥安全に宿泊できるように、見守り体制の調整、和室の活用、センサーマットなど環境を整えたが、徘徊や昼夜の帰宅願望などの利用者が増えたこともあり、転倒事故が18件発生しました。
- ⑦入所前・入所後の物品チェックを確実に実施し、物品紛失がなくなりました。紛失防止への意識を高め、今年度も紛失や苦情はありませんでした。
- ⑧外出行事を年3回、バイキングを2カ月に1回、茶話会やたこ焼きパーティー、手作りおやつなどを提供し、満足して宿泊していただけるように努めることができました。  
年度末は新型コロナの影響により面会が制限される中、特養と同様にご家族に利用者と共に書いた絵手紙を郵送するなどご家族との交流を図りました。
- ⑨前年度同様、90%の稼働率を下回る月が5カ月あった。ロングやセミロングの利用者の入所や入院が続くことが前年度同様の原因です。  
居宅支援事業所との関係を密にして、空所情報を提供し新規利用及び既存利用の増加に努めました。年間実績は延べ利用日数3,283日(前年比▲66)、新規利用者数19名(前年+3)となりました。
- ⑩日頃から感染対策や体調管理を行い、インフルエンザやノロウイルスなどの発生はありませんでした。
- ⑪広報誌を計画どおり年間3回発送し、ご家族も園での状況を把握していただくことができました。

■利用者諸表(特養)

入所年齢別・性別

(単位:20名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男					2				2	87.5歳
女			1	4	7	4	1	1	18	88.1歳
計			1	4	9	4	1	1	20	87.9歳

男性 最高 88歳 最低 85歳  
女性 最高 101歳 最低 79歳

在所期間

(単位:20名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8年以上	計
男	1				1				2
女	7	3	1	3		2		2	18
計	8	3	1	3	1	2		2	20

ADL調査表

(単位:20名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	6	2	0	1
介助で出来る	5	11	11	5
全然出来ない	8	7	9	14
経管栄養 胃ろう	1			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位:名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	2	10.0%	独語	3	15.0%
大声・暴言	5	25.0%			
暴力・介護抵抗	4	20.0%			
収集癖	1	5.0%			
異食	2	10.0%			
不潔行為	3	15.0%			

要介護度状況

(単位:名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男				1	1	2	4.5
女			5	10	3	18	3.9
計			5	11	4	20	4.0

\*R2年3月末現在の数値で利用介護度とは相違

小規模

■運営

- ①本年度4月は登録23名でスタートし、3月までの1年間通して20名以上を保つことができました。
- ②1年間の実人数も256人と前年比+26名と増加しています。
- ③1年間の平均介護度は2.6と前年並みでした。
- ④延べ利用者は6,585名(前年比▲27)、内訳 訪問844(▲129)、通所4,245(+179)、宿泊1,496(▲77)
- ⑤新規依頼、相談は南包括支援センターが最も多く、居宅事業所からの変更相談、医療機関からの相談依頼やご家族からの直接の相談がありました。
- ⑥南包括からの依頼で別事業所で小規模多機能をうまく利用できていない夫婦の相談を受け、2人同時に登録利用に繋げることができました。ご主人は1か月で入院、別施設へ入所されましたが、奥様は現在も利用を継続しています。

■ケア

【医療】

- ①R1年度は看取りのなる対象の方はいませんでした。
- ②ロングステイのご利用者は医療的連携が迅速に対応できる点からつむら診療所の津村Drへ主治医を依頼し看護師を中心に主治医、薬剤師と連携し状況報告しながら体調に応じて往診を依頼し体調管理に努めました。

【訪問】

- ①独居もしくは高齢者世帯の依頼が小規模は多く、ニーズに応じて訪問対応してきました。前年度よりも独居の世帯登録数が減少したことから延べ日数は減少しています。訪問時は主に、服薬管理(介助)、バイタルチェック安否確認、衣類交換(離床介助等)、買物、通院介助を行っています。

【リハビリ】

- ①専門職(PT・OT)が在籍していないため、介護職が生活リハや体操、リハビリバイク等のリハ機材を利用しADLの維持に努めました。
- ②高齢者向きの健康、リハビリ体操を1日2回と研修で学んだシナプソロジーを行い、身体と頭の活性化に働きかけました。
- ③全体の体操としてタオル、リハビリ体操を実施してきましたが、新たに足元気体操やごぼう先生の毎日10分の健康椅子体操などを取り入れ下肢の筋力の維持に努めてきました。

【家族会】

- ①今年度は家族会の実施には至りませんでした。原因としては正職員の退職があり派遣職員が現在、半数を占めていることで日々の業務を維持していく事でサービスの質の低下を防ぐようにしていました。

【行事】

- ①今年1年間の行事としては外出行事では世界のつつじセンター、石橋文化センター、緑化センターでの散策を春に行い夏季では出前やファミレスでの外食。秋季は敬老会、キリンビール工場へのコスモス見学、冬季は初詣と行ってきました。2月以降は感染症のリスクを抑えるため事業所内での行事のみ実施しました。
- ②2か月に1回のバイキングは1年間通して実施して、ご利用者には喜ばれています。

看護

1 入居者、ご利用者の些細な変化を早めに把握・報告し、嘱託医や主治医の指示により早期受診や点滴等施設で可能な医療の提供により、重症化・重篤化の回避を目指しました。

①他院受診状況

内科14回(9名)、整形外科4回(1名)、フットケア3回(2名)、眼科13回(3名)、眼科往診3回(2名)  
耳鼻咽喉科2回(1名)、皮膚科12回(5名)  
入居者の状態により定期的に専門医のフォローが必要なご利用者様が増加している。

②嘱託医等の往診39回、回診53回

③博愛クリニック胸写:入所時4名、定期17名、肺炎疑い等4名

④入院6名 延べ138日(特養のみ)

⑤救急搬送 特養3名、ショート0名、小規模0名

内訳は意識レベル低下、無気肺と心不全によるSPO2低下、脳出血でした。

2 夜間医師指示受け及び看護師対応状況

	特養	ショート	小規模	合計
救急搬送	1	0	2	1
医師への報告	3	1	0	3
看護師の対応	5	2	0	5

医師や看護師に対する電話連絡がさらに減少、夜間帯の救急搬送は特養の1件だけでした。

医師の指示により受診等対応を昼間実施と事業所間の夜勤職員の連携の成果です。

今後も定期的に学習会を開催し、介護職員が安心してケアでき、入居者が安心して休息できるように心掛けていきます。

3 感染対策

毎月、感染環境委員会を開催し、感染症・食中毒の予防、蔓延防止に努めた。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
スタンダード プリコーション	手指消毒 環境整備	熱中症	食中毒	疥癬	結核
10月	11月	12月	1月	2月	3月
インフルエンザ	ノロウイルス (ラウンド)	誤嚥性肺炎	レジオネラ症	腸管出血性 大腸菌感染症	安全な職場環境

4 褥瘡対策

介護職員向けに6月20日、12月19日に褥瘡対策勉強会を実施

今年度褥瘡形成者0名

5 看取り

特養入所時に入居者、ご家族に看取りケアについて説明

・介護職員向けに5月16日、看取りの学習会実施(看取り介護の指針について)

・5月31日、6月23日、7月20、23、24、25、27日看取りの学習会実施

特養退所者 6名 うち死亡による退所6名(全員が看取り介護加算を算定済)

6 喀痰吸引について

認定を受けた特養介護職員向けに痰の吸引手技確認、心肺蘇生訓練を年2回実施

(吸引該当者がいない為、2回のみ実施で終了する)

7 緊急時対応

窒息時の対応訓練を各事業所で延べ3回ラウンドにより実施。(6、7、8、月)

夜間緊急時の対応 年1回実施(4月18日)

送迎、訪問時等 異常発見時の対応 年1回実施(5月16日)

8 嘔吐者発生時(ノロウイルス感染疑い時)の演習(11月20、27、28日に実施)

9 新入職員研修

感染対策(2名)5月8日

夜間緊急時の対応(8名)・・・当直する職員のみ実施

(6月28日、7月25日、9月4、6、30日、11月3、24日、12月10日)

10 感染症罹患者

インフルエンザ感染症は職員1名のみ、ノロウイルス感染の発症は職員、ご利用者ともありませんでした。

全職員にインフルエンザ感染に関するアンケートを実施し、その結果に基づき対策を検討し報告しました。

■地域との関り

①平成30年度から行っている地域会議を概ね月に1回桜花台園で19:00~21:00まで行ってきました。

参加者は山崎理事長、津村D(つむら診療所)r、渡辺Dr(渡辺医院)、南包括職員(4名程度)、久留米社協、主任介護支援専門員(2名程度)、薬剤師(青峰調剤薬局)、桜花台園施設長及び相談員、介護支援専門員で構成されています。地域の課題や現状把握などについての意見交換や介護フェスタ開催に向けての協議を重ね11月23日に介護フェスタを青峰公民館で開催することに至りました。今回のテーマは『認知症と自動車運転』と題しまして1部では寸劇を行い、2部では篠木法律事務所の篠木弁護士からの講演を実施しました。

3部に座談会を行い大変実りあるフェスタを開催することができました。参加者が前回より減少した事が課題としてありましたが、地域への情報発信として今後も続けていきたいと思っております。

■行事実績(施設全体)

実施時期	行事名	内容・成果
4月8日	慰問:合唱	慰問 明善OB「合唱団虹」
4月15,17,25	外出行事:小規模	世界のつつじセンター
5月8日	外出行事:特養-4名	石橋文化センター 散策
5月13日	外出行事:ショート 8名	石橋文化センター 散策
5月15,16,20	外出行事:小規模20名	バスハイク 緑化センター
6月11,12,17	外食行事 小規模	ファミレスにて軽食
6月13日	お芋パーティー 全体	園で採れたお芋を使いフライドポテトやハッシュドポテトを作る
7月10日	たこ焼きパーティー ショート	たこ焼きを焼いて食べる
7月19日	七夕パーティー 小規模	短冊を作り、軽食を食べる
7月22日	外食行事 ショート 9名	ゆめタウン フードコート
8月17,22,30	出前イベント 小規模	どんどん亭(お好み焼き)に出前注文
9月6日	バスハイク 特養	石橋文化センター 散策
9月20日	敬老会	式典
10月9,11,24	外出行事 小規模	北野町キリンビール コスモス鑑賞
10月29日	外出行事 特養	北野町キリンビール コスモス鑑賞
11月6日	外食行事 ショート	ゆめタウン フードコート
11月8日	外出行事 特養5名	石橋文化センター 散策
12月9日	クリスマス会 特養	ケーキなど
12月17日	クリスマス会 小規模	軽食、カラオケなど
1月1日	新年祝賀式典	式典
1月7日	初詣 特養	日吉神社に参拝
1月10日	初詣 ショート	七木地藏に参拝
1月4,15,21日	初詣 小規模	七木地藏、高良山に参拝
2月25日	出前イベント 特養	どんどん亭(お好み焼き)に出前注文
2月25,26	軽食づくり 小規模	ぜんざいづくり
3月17日	出前イベント 特養	どんどん亭(お好み焼き)に出前注文
3月31日	花見 特養、ショート	お弁当(雨天の為園内実施)

定例行事

実施回数	行事名	内容・成果
11回	バイキング (小規模・ショート:特養)	季節に合わせたバイキング形式の昼食
6回	散髪	訪問散髪
7回	横山先生の音楽リハビリ	音楽に合わせたリハビリ、合唱

■研修実績(外部)

実施時期	研修名	内容・成果
5月10日	虐待予防研修 園内研修	虐待予防について 意識改革等
5月11日	筑後管理トレーニングコース 1名	標準予防策+手指衛生
5月16日	ポジショニング 園内研修	拘縮予防について
5月25日	定期総会: 3名	H30年度事業報告、31年度事業計画・役員改選
6月22日	久留米公開シンポジウム 1名	人と人との繋がる街づくり
7月17,18,23,24	介護福祉士実習指導者研修 1名	介護の専門校からの実習受け入れの過程を学ぶ
8月21日	人権、同和教育夏季講座 1名	外国人と生きる社会へ

8月21日	介護職員研修 1名	認知症の仕組みと見立てを症例から学ぶ
9月11日	小規模部会研修 1名	身近な人権
9月25日	園内研修	入浴ケアについて
10月5日	認知症研修 1名	久留米大学療センター 看護塾
10月17日	実地指導	特養、ショートステイの実地指導
12月19日	医療連携セミナー(糖尿病) 3名	フットケアの重要性 糖尿病治療の連携について
1月16日	苦情解決従事者研修会 1名	苦情解決の整備とそれぞれの役割
1月24日	筑後老人福祉協議会 研究大会 1名	10年継続勤務表彰 事例発表
2月18日	ケアプラン指導研修会 1名	ケアプランチェック
2月18日	高齢者虐待予防研修 1名	虐待予防策について
3月30日	避難、災害訓練	年2回の訓練 夜間想定

## ■ 研修実績(内部)

実施時期	研修名	内容・成果
5月10日	虐待、身体拘束廃止	虐待防止、身体拘束について
5月16日	拘縮予防研修	ポジショニングなど
7月26日	排泄ケアについて	排泄ケア
9月25日	入浴研修	入浴ケア、清拭について
9月13日	認知症研修	認知症予防について
10月24日	看取り研修	看取りケアについて
12月25日	倫理研修	介護職員の倫理研修

## ■ 地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
7月26日	第1回 介護予防教室:40名	栄養状態と口腔機能 山崎理事長より
8月17日	子供みこし	高良内7町内のこども神輿
9月9日	保育園との交流会	ニュータウン保育園児による合唱、演劇等
10月3日	第1回高良内小学校交流会	小学生からの出し物
10月10日	第2回高良内小学校交流会	高齢者施設での仕事とは 講師派遣
11月13日	第2回介護予防教室:39名	『認知症 あなたはしていますか』南包括より講話
11月29日	第3回高良内小学校交流会	小学生と交流会
11月23日	介護フェスタ(南包括主催)	寸劇、座談会「認知症と自動車運転」篠木弁護士
12月2日	第1回 青峰小学校交流会	施設見学 講和
12月9日	第2回 青峰小学校交流会	合唱、交流会(メンコ、あや取り、トランプ、折り紙、お手玉)
12月8日	青峰校区文化祭作品展示	利用者の手作りの貼り絵、小物作品を展示

## 唐孔雀園、桜花台園(栄養・地域配食)

### ■ 運営

#### ・ 年間栄養課目標

- ① 栄養ケア計画書を中心とし、入所者の身体状況を把握し、特徴・問題点を捉えた日々のケア・アセスメントを通して、個々の状態にあった食形態を提供する。
- ② 常に専門知識と技術の向上に努め、多職種と連携を図り質の高い食事サービスを提供する。
- ③ 桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングの実施(隔月)。

#### 結果

- ① 唐孔雀園は毎週木曜日、桜花台園は1回/月に栄養カンファレンス(メンバー:施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・総務、委託栄養士・管理栄養士)を実施し、常に利用者様の状態に合った食事を提供できるように、摂取量・水分量・体重変動・皮膚状態嚥下状態・検査値に基づいて対応しました。また、施設課との連携を密にして日々の体調変化にも迅速に対応しました。



継続して経口維持ラウンド、会議に取り組みました。(メンバー:医師・施設長・施設課長・看護主任  
ケアマネ・PT・各ユニット代表・管理栄養士)経口摂取に問題のある方、誤飲誤嚥のあるリスクの高い方  
に対し、唐孔雀園では第1、第3月曜日の11時からラウンド、14時から会議を行いました。  
桜花台園では第2火曜日の11時からラウンド、15時から会議を行い、安心、安全に経口摂取し頂けるよう  
多職種で意見を出し合い対応しました。

②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、予定通り開催

・施設目標

- ①栄養ケア計画の充実
- ②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキング開催。

結果

- ①前述した栄養カンファレンスにより、1人1人に細やかな対応をとることができました。
- ②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、担当職員と打ち合わせを行い、利用者様にも直接リクエスト等を聞きながら献立を考え、食事の提供を行いました。  
バイキングは特養の常食ご利用者様もショートステイのご利用者様と一緒に参加されています。  
ご利用者様からも好評なため今年度も引き続き行って行きたいと思えます。

・配食サービスの目標

令和元年度5,212食。  
7月以降療養食のみに移行しました。継続して行っていきます。

・地域支援プロジェクトの目標

地域との交流・貢献と法人PRを兼ねて、今年度は以下の計画を実施しました。

①料理教室

第七町内公民館	食欲増進メニュー(6/26) 南瓜丸ごと使い切りメニュー(11/13) クリスマスメニュー(12/11)
高良内公民館	食欲増進メニュー(6/19) 南瓜丸ごと使い切りメニュー(9/18)

②介護予防教室

栄養教室 (7/26)

③「防災の日」について

今年度は、炊き出し訓練を行わず、ご利用者様に防災の日の意識付けを兼ねて、ランチョンマットを作成し、デスポ食器にて食事の提供を行いました。

■衛生管理

個人の衛生管理、食品の取り扱い衛生管理等はマニュアルに沿って実施しました。

■行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
5月5日	子供の日	鯉のぼり ねりきりを提供
5月21日	開園記念祝膳	赤飯・紅白饅頭等の祝膳を提供
7月7日	七夕膳	七夕そうめん・七夕ゼリー等提供
8月14日	精進風料理	お盆入りのため、精進風料理(そうめん・和え物)を提供
9月1日	防災の日 非常食	防災のランチョンマットを作成。献立はおにぎり・漬物・豚汁・鯛蒲焼缶・ヨーグルト・バナナ・ビスコ
9月18日	敬老膳	ランチョンマット作成。赤飯、ぶりの照り焼き、5色煮、紅白なます、果物、茶碗蒸し、お吸い物、まんじゅう
10月31日	ハロウィン	南瓜のコンソメスープ
12月24日	クリスマス膳	パエリア、ミートローフ・コロッケ盛り合わせ、イタリアンサラダ、クリスマスケーキ、ポタージュスープ
1月1日	おせち	昼・夕おせちを提供
2月14日	バレンタインデー	チョコプリンを提供
3月3日	ひな祭り	散らし寿司、女雛まんじゅうを提供

小規模多機能 バイキング

実施時期	内容
5月29日	ホットサンド(ハム、チーズ)、サンドイッチ(たまご)、ジャムロール、メンチカツサンド、生野菜サラダ クラムチャウダー、タルト、キウイフルーツ、コーヒー
7月30日	ごま塩おにぎり、瓦そば(牛肉、錦糸卵、きざみのり)、天ぷら(きす、えび、南瓜、なす、ピーマン、 れんこん)、海藻サラダ、清汁、アイスクリーム、サイダー
9月24日	お好み焼き(豚バラ、キャベツ、長芋とろろ、チーズ、えび)、やきそば、唐揚げ、青菜の和え物 プチインシュー、サイダー
11月21日	助六寿司(巻きずし、いなり寿司)、おでん(卵、大根、ちくわ、結びしらたき、厚揚げ、がんも) 唐揚げ、和え物、味噌汁、キャラメルケーキ、サイダー
1月28日	キンパ(韓国風巻きずし、牛肉、ほうれん草、人参、錦糸卵、きざみのり)、チーズタッカルビ(鶏小間肉、 キャベツ、玉ねぎ、さつまいも、チーズ)、和風大根サラダ、わかめスープ、ショートケーキ、カルピス

ショートステイ バイキング

実施時期	内容
4月25日	御飯、焼き肉(牛肉、豚肉、ウインナー、野菜)、キムチ、カリフラワーサラダ、わかめスープ プチケーキ、CCレモン
6月25日	ホットサンド(ハム、チーズ)、サンドイッチ(たまご)、ジャムロール、あんぱん、生野菜サラダ クラムチャウダー、タルト、すいか、コーヒー
8月27日	ごま塩おにぎり、瓦そば(牛肉、錦糸卵、きざみのり)、天ぷら(きす、えび、南瓜、なす、ピーマン) 塩昆布和え、清汁、アイスクリーム、サイダー
10月21日	お好み焼き(豚バラ、キャベツ、長芋とろろ、チーズ、えび)、やきそば、唐揚げ、青菜の和え物 まんじゅう、サイダー
12月16日	助六寿司(巻きずし、いなり寿司)、おでん(卵、大根、ちくわ、結びしらたき、厚揚げ、がんも) 唐揚げ、和え物、清汁、キャラメルケーキ、サイダー
2月19日	キンパ(韓国風巻きずし、牛肉、ほうれん草、人参、錦糸卵、きざみのり)、チーズタッカルビ(鶏小間肉、 キャベツ、玉ねぎ、さつまいも、チーズ)、和風大根サラダ、わかめスープ、ショートケーキ、カルピス

■研修会

実施時期	研修名	内容・成果
6月18日	特定給食施設研修会	平成31年度巡回指導及び栄養報告書結果報告、 令和元年度巡回指導方針
10月19日	日本人の食事摂取基準研修会	食事摂取基準(5年ごとに改定)の2020年度改定予定内容の要点
11月5日	ノロウイルス食中毒予防講習会	ノロウイルス食中毒・感染症の知識、対策、汚染時の対応